

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第106号

令和2年2月1日

発行 学校法人 東京聖徳学園 〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

# 聖徳フラッシュ

INDEX

学園	24	幼児教育専門学校	5
大学院・短大	1, 2, 3, 4, 5	附属女子中・高	6
		取手聖徳女子中・高	6
		幼稚園	5
		インフォメーション	6, 7
			8

## 岡崎 朋美 客員教授と 高田 千明 客員教授による 初講義が行われました



岡崎 朋美氏



高田 千明氏

本学児童学科客員教授の岡崎朋美氏と高田千明氏による初めての講義が十二月五日(木)および十九日(木)、同学科スポーツ健康コース(本年度四月開設)の一年生を対象に行われました。

五日の講義では、岡崎氏が「どこまでも挑戦」と題し、時折クイズを交えながら、一九九四年から二〇一〇年にかけて連続出場した冬季五輪五大会(リレハンメル、長野、ソルトレークシティ、トリノ、バンクーバー)について話しました。幼少期からのスポーツ経験や競技生

活、結婚、出産等を経てオリンピック競技大会へ臨んだ背景が語られました。

学生からプレッシャーへの対応方法について質問が挙がると、「デモンストレーションや事前準備をしっかり行い、大会時には『自分の滑りを見て！』という気持ちで臨んだ」と答えました。

十九日の高田氏の講義では、冒頭に、東京二〇二〇パラリンピック競技大会女子走り幅跳び(視覚障害者T11クラス)出場への内定を祝い、高田氏へ花束を贈呈しました(パラ陸上世界選手権二〇一九

年十一月ドバイ)において四六九の日本新記録で四位に入賞し、パラリンピック代表に内定)。

講義では、子どもの頃の様子や競技を始めたきっかけ、練習の様子などについて話がありました。指導者の言葉をイメージし、自分の体の動きとして具体化できるまで、何度も全身を使って確認しながら動きを覚えていったとのエピソードが語られました。学生たちにとって、スポーツ指導の支援方法を学ぶ上で、大いに参考になるものでした。

### 東京2020パラリンピックでの 高田 千明 氏の活躍をみんなで応援しましょう!

#### 【高田 千明 氏 競技スケジュール】

- 8月28日(金) 9:30 ~ 13:00  
女子走幅跳 T11 決勝・表彰式
- 8月31日(月) 19:00 ~ 22:00  
女子100m T11 準決勝
- 8月31日(月) 9:30 ~ 13:00  
女子100m T11 予選
- 9月1日(火) 19:00 ~ 22:00  
女子100m T11 決勝・表彰式

## 第二十六回 ハッピーホームカミング

### おかげさまでハッピー二十六年目 なつかしの母校に二百五名の笑顔が集いました

第五十五回聖徳祭の初日である十一月十六日(土)、一号館四階メディアパークにて第二十六回ハッピーホームカミングを開催しました。香和会(同窓会)会員、教職員など総勢二百五名の学園関係者が参加しました。

日常生活で困っていることを学生から質問されると、「障がい者に対して大多数の人は黙って見ていることが多いが、声を掛けたり行動を起こしたりしてほしい」と話しました。最後に東京二〇二〇パラリンピックに向けて、「表彰台の一番良い場所、金メダルを目指したい」と力強く抱負を語りました。

乾杯が終わると、恩師や友人とミニクラス会を開催して学生時代に戻ったかのよう楽しむ会員の笑顔が、会場いっぱいにあふれました。二〇二〇年オリンピック。

オープニングでは、音楽学部卒業生が電子オルガンの演奏で参加者を出迎えました。続いて、川並弘純学長が「お帰りのさい」と歓迎し、母校の改革と発展、在学生の活躍について語りました。

全員で記念撮影をした後は、聖徳祭の中夜祭会場川並香順記念講堂へ多くの香和会会員が足を運びました。聖徳での青春の日々や学園祭の熱気に触れ、かけがえない宝物の時間を過ごしていました。



聖徳大学 聖徳大学短期大学部

今年も多くの現役生が夢を実現しています

## 2020年度 公務員採用試験合格実績

(令和2年1月27日現在)

### 公立小・中・高等学校教員合格者 32名

【公立小学校教員】  
東京都7名/千葉県千葉市9名/埼玉県5名/茨城県2名/北海道1名/山梨県1名/沖縄県1名

【特別支援学校教員】  
神奈川県1名

【養護教諭】  
栃木県1名

【公立中学校・高等学校教員】  
東京都2名/埼玉県2名

### 公立幼稚園教員合格者 6名

■東京都 計2名 特別区2名 ■千葉県 計2名 浦安市2名 ■茨城県 計1名 つくば市1名  
■新潟県 計1名 阿賀野市1名

### 公立保育士合格者 115名

■東京都 計61名 葛飾区17名/江戸川区5名/江東区7名/港区4名/荒川区8名/渋谷区1名/新宿区1名/杉並区1名/世田谷区1名/千代田区2名/足立区8名/台東区1名/大田区3名/板橋区1名/品川区1名  
■千葉県 計25名 千葉市1名/千葉市4名/印西市1名/浦安市1名/鎌倉谷市3名/佐倉市1名/松戸市3名/成田市2名/船橋市4名/柏市2名/八千代市2名/茂原市1名  
■埼玉県 計20名 さいたま市4名/川口市4名/越谷市5名/草加市4名/三郷市1名/羽生市1名/松伏町1名  
■茨城県 計5名 つくば市3名/守谷市1名/阿見町1名 ■神奈川県 計1名 鎌倉市1名  
■岩手県 計1名 宮古市1名 ■山形県 計1名 酒田市1名 ■富山県 計1名 富山市1名

### 幼稚園教員・保育士一括採用合格者 7名

■千葉県 計3名 習志野市3名 ■茨城県 計2名 鹿嶋市1名/水戸市1名 ■埼玉県 計1名 杉戸町1名  
■新潟県 計1名 燕市1名

### その他職種 7名

【児童指導員】千葉県3名 【心理職】千葉県1名 【栄養士】千葉県1名/松戸市1名 【保健師】千葉県1名

# 千葉県私学教育功労者表彰

第50回千葉県私学教育功労者表彰式が12月7日(土)、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張(千葉市)にて行われ、本学園より次の6名の先生方が、多年にわたる千葉県の私学教育の振興・発展への功労者として表彰を受けました。

### 【千葉県私学教育振興財団表彰者】



聖徳大学文学部  
文学科 教授  
大庭 邦彦



聖徳大学通信教育部  
児童学部児童学科長  
沢崎 真史

### 【千葉県私学教育功労者表彰 第50回特別感謝状】



名誉学園長  
聖徳大学附属幼稚園・  
附属第二幼稚園・  
附属成田幼稚園・  
附属浦安幼稚園 総園長  
附属第二幼稚園園長  
川並 知子



聖徳大学附属女子中学校・  
高等学校 教諭  
水澤 宗和



聖徳大学附属女子中学校・  
高等学校 教諭  
幸重 雅也



聖徳大学短期大学部  
総合文化学科 教授  
正道寺 康子

# 全国栄養士養成施設協会会長表彰

多年にわたり栄養士養成施設において教育に尽力し、多大な貢献をしたことにより、11月3日(日・祝)、一般社団法人全国栄養士養成施設協会会長より表彰を受けました。



聖徳大学人間栄養学部  
人間栄養学科 准教授  
横山 嘉子

● 技術力を高める  
「血圧測定100本ノック」  
授業の空き時間を使って、まるで野球のノックのように血圧測定の練習をします。回数を増やすたびに上

Plumeria Corpsが今年度行った活動を紹介します。

看護学部では、学生の自主サークル「Plumeria Corps」が三月から始動しています。毎年学部の海外研修先となっているハワイ大学との縁にちなみ、熱帯に咲く花で、学部の目指す姿である「気品」を花言葉にもつ「Plumeria」と、楽団などの愛称に用いられる「Corps」より、学生自ら命名しました。



血圧測定100本ノック中!

● 広報活動  
今年度の学生ボランティアは、Plumeria Corpsが先頭に立ちました。オープンキャンパスでは受付や案内の他、シミュレーションを自ら計画し、高校生に看護の視点を伝えました。高校生が楽しそうに体験してい

ました。和ちゃんと共に看護学部について広報し、認知度を高めています。

自主サークルPlumeria Corpsの今後の活動にますます目が離せません。



「和ちゃん」付箋

## 看護学部生自主サークル 「Plumeria Corps」

● マスコットキャラクター「和ちゃん」の制作  
看護学部生のキャラクターを考案し「和ちゃん」と名付

達し自信が芽生え始めます。

祭にふさわしい曲が披露され、二人の美しい歌声が会場に響きました。衣装のドレスと店内の呉服との色鮮やかなコントラストもコンサートに華を添えました。

当日の様子は、後日NHKの各ニュース・情報番組でも取り上げられました。

## RE科目 ディズニールランドでの 実地課題学習の報告

文学部のRE(Reality Experience)科目で看板授業の一つ、「ディズニールの世界」作品の魅力」では、十一月二十日(水)に東京ディズニールランド(TDL)へ実地課題研究に行きました。狙いは、世界のディズニールゾートの中でも最高のリピート率を誇るTDLの魅力、その行動規律と



「ビッグサンダー・マウンテン」前にて

調査を元にグループごとに「ビッグサンダー・マウンテン」に配慮した理由をにこやかに礼儀正しく(C)答えました。後日、実地

六つのグループに分かれ自主的に課題を定め、それぞれ実地調査を行いました。あるグループは、人気アトラクション「ビッグサンダー・マウンテン」の入口にある、身長を測定できる計測器に注目しました。これを使い

別グループでは、構内で掃除を担当するキャストにリアル・キャストにインタビューしました。「地面をはなせですか」との質問に、「しゃがむとゲストの視界から外れてぶつかったりして危ないので、立っただけです」と、安全性(S)を測ることで、効率的(E)に安全性(S)を確認できます。



積極的にキャストに質問

研究発表のプレゼンテーションを行い、互いの考察をさらに深めました。文学部では、今後も体験型参加型授業RE科目を通じて、学生が主体的に学ぶ姿勢をサポートしていきます。



## 音楽文化研究科修了生・在学生が 「第八回 松戸クリスマス音楽祭」に出演

十一月二十四日(日)、第八回松戸クリスマス音楽祭において、本学大学院音楽文化研究科の修了生・在学生がコンサートに出演しました。この音楽祭は、松戸駅周辺商業協同組合が「音楽の街、松戸」を目指して毎年行っている音楽イベントで、駅周辺のいろいろな場所を会場に小さな音楽会が開かれます。



左から水野さん、真野さん、牧田さん

音楽文化研究科修了生の牧田信乃さん(ソプラノ)と真野綾子さん(ソプラノ)、同在学生の水野沙六花さん(ピアノ)の三名は、市内の葛西屋呉服店を会場に「聖徳女声アンサンブルによる 呉服店で贈る - ふたりうた -」と題しコンサートを行いました。子どもから年配者まで三十名を超える来客で会場はにぎわいました。

語学教育センターだより

# 英語の絵本読み聞かせ コンテストを開催

十一月十六日(土)、聖徳祭初日に、「英語の絵本読み聞かせコンテスト」を行いました。

優勝を勝ち取ったのは、児童学部児童学科三年生の高橋あかねさん「Don't Push the Button」、準優勝は、文学部文学科一年生の前川春香さん「Look Out, Suzy Goose」でした。

高橋さんは発音の素晴らしさはもちろんのこと、絵本に出てくるボタンによく似たボタンを作って実際に観客に押しってもらうなど参加型の演出で会場を盛り上げ、審査員に印象付けました。前川さんは、明るく元気の良い、心温まる読み聞かせでした。他の参加者も独自の工夫を凝らしていて、最後まで誰が優勝するか予想できず接戦となりました。



1番右が優勝した高橋あかねさん

読み聞かせは大変奥深く、子どもたちが楽しめるよう適切にアイコンタクトを取っ

たり、声掛けをしながらか読む必要があります。高いコミュニケーション能力が要求されます。本センターでは、次年度以降も同コンテストを開催する予定です。さまざまな学部学科からの学生の参加を歓迎しています。

# やりたいことをしよう! 松戸市文化観光国際課の ハビエ・グテレス氏をゲストに迎えて

本センターでは、毎年ゲストスピーカーを迎えトークイベントを行っています。今年度は十一月七日(木)に松戸市文化観光国際課で働くハビエ・グテレス氏を招きました。

グテレス氏は米カリフォルニア州出身で、来日して約一年八カ月になります。名門ハーバード大学を卒業

し、現在は日本語を勉強中です。いずれは世界を旅したいという夢を持っています。大学では初めは医学を専攻していましたが、日本について学びたいという強い気持ちから日本語へ専攻を変えました。自分が何をしたいのか、本当にこれが自分のやりたいことなのかを



ハビエ・グテレス氏

問い、その夢を追うことがとても大事であると語りました。グテレス氏は、カリフォルニアでも治安の悪い厳しい環境で育ちましたが、夢を捨てずに常にベストを尽く

けてきました。好きな言葉は「真髓」と「熱血」。人生には多くの課題や苦労がありますが、チャレンジし続ける恐怖を克服することで、有意義で面白い人生が送れると熱弁しました。学生から多くの質問が挙がりイベントは大盛況でした。グテレス氏も本学にて第二弾を開催したいと意気込みを見せていました。

短期大学部総合文化学科だより

# 社会貢献の理論と実践発表会

短大総合文化学科は十二月六日(金)に「令和元年地域貢献活動の実践発表会」を行いました。七グループに分かれた二年生が、年間にわたり松戸市内で実施してきた八つの地域貢献活動と成果について報告しました。詳細は次の通りです。

●「お菓子を松戸を盛り上げよう」パティスリー&Cafe「みつ葉とはー」とや梨園「高春園」と協力して松戸市名産の梨を使ったお菓子「パート・ド・フリユイ」のレシピを開発。パンフレットで認知向上に努めた。

●「笑顔あふれるこども食」

●「わくわくスタンプラリー」小金宿ぶらり市でオリジナルのスタンプラリーを企画・実施。多くの子どもが楽しんで参加した。

●「お弁当バッグに夢をつめこんで」子どもたちからお弁当バッグのデザイン画を募集し選考会を実施。受賞デザインのパックを実際に制作し本人へ贈呈。松戸まつりや聖徳祭にて子どもと一緒に弁当バッグのファッションショーも開催。

●「クックパッドで松戸の名産品を広げる」市内名産品を使用した新レシピを考案しクックパッドに掲載。レシピ名は、矢切ネギの肉巻き、ささみとあじさいネギのミソリンネーズ和え、ホットケーキミックスを使った枝豆クッキー等。

●「子どもたちに野菜を」松戸市の特産の野菜をキャラクター化した絵本を三冊制作。附属幼稚園の園児へのアンケート結果などに基づいて完成させた。

●「松戸の魅力」をYouTubeで発信「松戸にあるタピオカドリントや人気ラーメン店を食べ比べてランキングを自作し、動画形式で発表。若者が楽しめるような冬のイベントも発信した。

●「松戸市関連および岩瀬自治会関連のイベント支援」岩瀬さくら祭り、松戸ラストサマーフェス2019、岩



# 食堂の猫

## 川並弘昭記念図書館・聖徳博物館 館長だより

昨年三月、兵庫県立美術館からスタートした「不思議の国のアリス展」は、全国を好評巡回中です。この展示会には、本学から多くの関連書籍が貸し出されています。アリスは、一五〇年以上たった今でも、子どもたちだけでなく、大人たちをも魅了し

続けているようです。二〇一七年、文学科三年生の英国研修旅行の引率で、オックスフォード大学を訪問する機会がありました。映画「ハリ・ポッター」のホグワーツ魔法魔術学校の食堂として使用された同大学のクライスト・チャーチのグレートホールも見学しました。このホールのステンドグラスには、『不思議の国のアリス』のモデルとされるアリス・リデルと作者のルイス・キャロルが描かれています。物語に登場するキャラクターたちもいます。

見学を終えて帰ろうとした時に、入口付近の椅子に、一匹の猫が彫られているのが見えました。はて、どこかで見たようなと、急いで周りを眺めてみたのですが、他の椅子には猫は見当たりません。それにしても、この写真、ジョン・テニエルが描いた、アリスに登場するチェシャ猫にちよつと似ていると思いませんか。誰が彫ったのでしょうか。学生のいたずらでしょうか。思い出すとますます知りたくなります。ご存じの方いらつしやいませんか。今年の干支はねずみなのに、年初から猫でお騒がせして申し訳ありません。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

品を使用した新レシピを考案しクックパッドに掲載。レシピ名は、矢切ネギの肉巻き、ささみとあじさいネギのミソリンネーズ和え、ホットケーキミックスを使った枝豆クッキー等。【MausudoPad】のアカウンと名で公開中。 <https://cookpad.com/kitchen/30126362>

●「子どもたちに野菜を」松戸市の特産の野菜をキャラクター化した絵本を三冊制作。附属幼稚園の園児へのアンケート結果などに基づいて完成させた。

瀬まつり、岩瀬文化祭に、ボランティアスタッフとして運営を支援。発表会には来年度活動を行う同学科一年生や教職員、地域、企業、団体、市役所から来賓が参加し、「とても助かった」よく貢献してくれた「来年度もぜひ継続してほしい」との声が上がりました。今年度で六年目となる地域貢献活動。得られた経験を次世代に引き継ぎ、来年度も改良を重ね活動していきます。



本活動の内容は、学科のホームページでも紹介しています。 <https://faculty.seitoku.ac.jp/arts-sciences/>

募金だより

確定申告の準備は お済みですか？

聖徳学園へのご寄付は、特定公益増進法人に対する寄付として所得税法上の優遇措置(寄付金控除)を受け...

◆手続き時の参考(本学へのご寄付の場合)◆

●寄付金の種類

「上記以外の寄付金控除に該当する寄付金」を選択 条例指定の対象地区

東京都・八王子市 千葉県・松戸市・成田市・浦安市 茨城県・取手市 となります。

※法人の方からのご寄付には、受配者指定寄付金(寄付金額全額を損金に算入できる)制度の利用をご案内しています。

「聖徳教育学術振興募金」寄付者芳名二覽

●取引業者関係

株式会社ツアープランナー オブジャパン 代表取締役 荷口 優 様

●法人役員関係

川並 弘純 様 (一、二八〇、〇〇〇円) 川並 芳純 様 (四〇〇、〇〇〇円)

●大学後援会関係

羽賀 真理 様 (六〇、〇〇〇円) 三〇、〇〇〇円

●附属女子中学校・高等学校関係

花みずき会 様 (三〇、〇〇〇円) 富田 治 様 (五〇、〇〇〇円)

●附属小学校関係

青山 裕也 様 (二〇、〇〇〇円) 神谷 知伸 様 (三〇、〇〇〇円)

●教職員関係

川並 珠緒 様 (四三〇、〇〇〇円) 阿部 真美子 様 (九〇、〇〇〇円)

●その他

金子 清美 様 (五四、〇〇〇円) 辻 正行 様 (六〇、〇〇〇円)

●聖徳大学附属第二幼稚園

教職員一同 様 (二一、五〇〇円) 聖徳大学附属第二幼稚園

「聖徳大学香和会五十周年記念奨学基金」寄付者芳名二覽

●香和会関係

長江 曜子 様 (六〇〇、〇〇〇円) 上坂 真奈美 様 (三六、〇〇〇円)

●香和会関係

長江 曜子 様 (六〇〇、〇〇〇円) 森田 節子 様 (二〇〇、〇〇〇円)

●ひじり会関係

高橋 博子 様 (四〇〇、〇〇〇円) 嶋津 美智子 様 (五〇、〇〇〇円)

「Seitoku古本募金」寄付者芳名二覽

●合計

二件 二〇八、〇〇〇円 累計 二八件 三四、〇三一、五〇〇円

●合計

一四件(一、〇三六冊) 二八、五三三冊 累計 一〇七件(九、九〇二冊) 二五五、五四七冊

●お申し込み・お問い合わせ先

東京聖徳学園 募金課 TEL:0473-365-1111(代)

ホームページアドレス http://www.seitoku.jp/bokin/

聖徳 募金 検索

令和元年度 消防・防災 総合訓練

十一月二十九日(金)、松戸キャンパスにて消防・防災総合訓練を実施しました。

短期大学部 保育科だより

短期大学部保育科では、毎年聖徳祭にて、親子向けパフォーマンスの発表、キッズルームの提供(児童学科との共催)等を行っています。

① 親子で歌って踊って 「保育者のたまごのカーニバル」

一、二年生の有志による親子向けパフォーマンス「保育者のたまごのカーニバル」を一号館子ども図書館前で行いました。



この日のために念入りに準備してきた学生にとって、子どもや保護者を前にした発表は、授業での学びを実践する貴重な場となりました。

② キッズルームを 児童学科と共催でオープン

児童学科と共催で毎年恒例のキッズルームをオープンしました。初日は児童学科が担当し、子ども八十八名・大人七十七名が、二日目は、本学科が担当し、子ども七十名・大人六十二名が利用しました。



その後、教職員や有志の学生が、訓練用消火器で消火訓練を行いました。安全への意識を再認識する訓練となりました。



数が少ないなど、利便性における課題が残りました。来年度以降は、子どもの遊びを充実させるだけでなく、保護者がゆったりと安心して過ごせるよう環境を整備し、さらに快適なキッズルームを提供できるよう企画・実施していきます。

第二部は、皆で絵描き歌を行いました。歌いながら描いている様子はどの子どもたちも楽しそうでした。

## 松戸学官連携推進事業 「スポーツの力でつながろう！」 ～東京二〇二〇 オリンピック・パラリンピック 競技大会へ向けて～」を開催

聖徳祭二百目の十二月十七日(日)、本学一号館一二一九教室において、松戸学官連携推進事業シンポジウム「スポーツの力でつながろう！」～東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けて～」を開催しました。

初めに、教職研究科百瀬定雄教授より「スポーツの力でつながろう！」と題した基調講演がありました。ラグビーワールドカップ二〇一九日本大会や、一九九八年長野オリンピック開催時の選手と長野市内の学校の交流事例を紹介し、「スポーツには人々を引き込む力、広げる力が内在している。スポーツをする人、観る人、支える(育てる)人を引き込む力、つなぐ力がある」と話しました。

続いて、岡崎朋美氏(本学客員教授、一面参考)、西山淳哉氏(ラグビー選手/本場ニュージランドでのプレーを経て現在は松戸市内でラグビー教室を開催)、平川孝広氏(二〇一一年千葉ボッチャ選手権大会準優勝)の三名によるパネルディスカッション「豊かに生きるためにスポーツができること」を行いました。

生涯にわたりスポーツを続けるためには、子どもの頃の取り組み方や、子どもたちを育てる指導者の在り方が重要です。子どもは、「やらされている」では続かないため、自分で意思決定しながら遊び心を持って取り組むことが継続する鍵となります。指導者は、それぞれの子どもに合わせた指導を行っていくことが大切です、と語りました。最後に、「東京オリンピック・パラリンピック会場にぜひ足を運び、テレビでは味わえない臨場感とトップレベルの選手の表情を間近で見て感じてほしい」と添えました。



左から、パネリストの岡崎朋美氏、西山淳哉氏、平川孝広氏

東京二〇二〇大会に向けて、スポーツを通じて、いつ、誰と、どのように、どこへつながるのか、一人ひとりが考える良い機会となりました。

## 幼児教育専門学校

### 第二十回 ピアノ演奏会



十一月三十日(土)、聖徳大学川並香順記念講堂において行われた「第二十回ピアノ演奏会」に、本校保育科二年生が出演しました。演目は、ピアノ独奏「バルトーク作曲『ルーマニア民族舞曲』より 第一・三・五・六番」でした。緊張した面持ちながらも生徒たちは、民族舞踊独特の難しい曲を、リズムよく表情豊かに演奏しました。日頃から、授業の他の課題と並行して、寸暇を惜しんでピアノの練習を行ってきた結果が、本番の舞台上で十分に発揮されていました。演奏後の晴々とした笑顔からは、充足感がにじみ出ていました。本番を迎えるまでの地道な努力や、大舞台で力を発揮できた経験は、他では得ることのできない経験であり、将来に大いに役立つことでしょう。

### 第六十三回 グループ研究発表会

十二月八日(日)、第六十三回グループ研究発表会を開催し、本校一部二年生(二部三年生と、短期大学部保育科二年生が、第一分科会(四グループ)と第二分科会(三グループ)の計七グループに分かれて、それぞれの研究成果を発表しました。各グループの詳細は次のとおりです。

● 第一分科会  
「日本における外国にルーツをもつ家庭の子育て支援(短大三年)」、「健康を育む食育(専門三年)」、「ピアノや効果音を使った効果的な絵本の読み聞かせの表現方法について(専門二年)」、「幼児身体能力について(短大三年)」

● 第二分科会  
「幼稚園教育における食育の取り組みに関する

研究」好き嫌いをなくし、食事への興味関心を育むための取り組み(専門二年)、「子どもの童謡」後世に伝えていくために(短大三年)、「ルールのある遊びに対する理解力を高めるための手作り教材の研究(専門三年)」

二十分間の発表の後、十分間の質疑応答、指導教員による講評がありました。どのグループも研究成果を分かりやすく伝えようとする意図が感じられました。見学者も積極的に質問し、白熱した研究発表会となりました。

今回発表したグループの中から、本校と短大の各代表として二グループが選ばれ、二月二十一日(金)に千代田区にて開催される「第三十三回学生研究発表会(全国保育士養成協議会関

## 附属小学校

### 特別授業開催

### 「ボーイングSTEMプログラム in ジャパン」シアトル航空博物館がやってくる

十一月十四日(木)、五、六年生を対象にSTEMプログラムが本校で開催されました。毎年国内の小学校や科学技術館で行われ、今回私立小学校において初めての実施となりました。当日はボーイング社二名、シアトル航空博物館学芸員三名、通訳二名、日本科学技術振興財団八名、千葉県総合企画部空港地域振興課二名の来校がありました。

冒頭は、ボーイング社小林氏による飛行機開発の歴史についての話でした。世界最大の航空宇宙機器開発製造会社の最新機種「ボーイング787ドリームライナー」の動画が流れると、その圧倒的迫力で、子どもたちは動画が終わる度に熱い拍手を送りました。



発表する予定です。東プロック協議会主催で

続いてシアトル航空博物館学芸員による飛行サイエンスショーが行われました。トンボや鳥から、レオナルド・ダ・ヴィンチの飛行機模型、凧、ドローン、そして



遠くまで飛ばせるかな?



5年生【宇宙服をつくろう】

午後は学年ごとのワークショップです。五年生は「宇宙服をつくろう」をテーマに、「宇宙空間を再現した真空容器の中で、人間に見立てたマシムマロを完全に保護するために、ビニール手袋やテープを使って、宇宙服を作る」課題に挑戦しました。最善の方法を話し合



熱気球の実演

開催後、児童からは「実際に宇宙服を作る人は、何度も失敗をして正解を見つけている。大変尊敬する」「探査ローバーを試しているうちに、ロボットの進化を体験している気分になった」などの感想が寄せられました。

未来を担う児童にとつて、宇宙や科学技術に興味を持つことはとても大切です。附属小学校では算数、理科をはじめ、今後さらに充実した授業に取り組んでいきます。

※STEMとは?  
“Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、and Mathematics(数学)”の総称で、科学技術の分野横断的な教育を推進する考えのもと米国で始まった教育モデルです。



6年生【探査ローバーをつくろう】

# 附属女子中学校・高等学校

## 第五学年 九州修学旅行

十二月十一日(月)から十六日(土)まで、取手聖徳女子高校と合同で第五学年(高二)の九州修学旅行を実施しました。九州の大自然、町並み、歴史、食、人に触れ、生徒たちの興味や関心がさらに広がった六日間となりました。



クラスメートと寝食を共にしながら過ごす修学旅行は、高校生活の中でも特に思い出に残る行事です。そのため、単に楽しいだけの行程ではなく、修学旅行ならではの特別な体験を通して生徒たちの個々の成長につながることを主眼に置いて、内容の充実を図っていました。

中でも、三日目に訪れた長崎の原爆資料館は、過去から未来まで自らの在り方に直面し熟考

する機会となりました。原爆が落とした影にしっかりと向き合い、平和への意識や願いを一人ひとりが心に刻んでいた様子でした。また各見学地では、他者

への心配りや思いやりの気持ちを持って行動することができていました。時間を守り、元気に挨拶し、「聖徳生」として立派な姿を示し、九州を後にしました。

## バントワタリング全国大会

十二月七日(土)に幕張メッセにて、第四十七回バントワタリング全国大会が開催され、本校バトン部は四年連続で出場しました。

今年度のバトン部の活動は、例年と比べて大きく二点変わりました。一点目は、時間の使い方です。全国的に部活動の時間が制限される動きの中で、本校でも練習時間が減少しました。しかし、より短い時間に集中して練習する意識が芽生え、活動内容の質

を高めることができました。二点目は、昭和学院高校(市川市)との合同練習の機会が増えたことです。よい目標でありライバルでもある昭和学院高校との合同練習は、大きな刺激になりました。共に全国を目指す共通点で仲間意識が高まり、一緒に出場する大会では、互いに励まし合い、友情にも似た信頼感を持つようになりました。

大会の結果は、昨年同様「銀賞」でした。全国大会で



堂々と演技ができたことは、生徒一人ひとりの大きな財産になったことでしょう。この日で引退を迎えた六年生も、笑顔いっぱいで大満足の様子でした。今回の大舞台での貴重な経験は、引退する六年生は次のステージでの活躍へ、四・五年生は来年度さらに磨かれた演技へと、それぞれの将来につながる「バトン」となることでしょう。

# 取手聖徳女子中学校・高等学校

## 第五学年 九州修学旅行

十二月十一日(月)から十六日(土)まで、第五学年(高二)は附属女子高校と共に



九州修学旅行に行ってきた。学年全員で楽しく笑顔溢れる充実した六日間を過ごすことができました。

天候に恵まれ青く澄んだ空の下、九州の雄大な風景や紅葉に彩られた美しい山並みを見て、普段触れることのない大自然にどの生徒も感動に浸っていました。一方で、熊本城や雲仙普賢岳では、地震や噴火による被害を目の当たりにし、自然の持つもう一つの側面、その脅威を肌で感じ取りました。

長崎の原爆資料館では、一人ひとりが真剣な眼差しで展示に見入る姿が印象的

でした。生徒たちは、「多くの命を奪う戦争は二度と起きてはならない」「私たちはこのことを後世に伝えていかなければならない」と感想を語っていました。感性の柔らかな高校時代に、多くのことを感じ取り、とても

も貴重な経験となったようです。多くの方々と出会い、数々の温かく細やかな心遣いを受け、生徒たちはおもてなしの精神を学ぶこともでき、充実した修学旅行になりました。

## JICA筑波主催 高校生国際協力実体験プログラム

十二月七日(土)、JICA筑波主催による「高校生国際協力実体験プログラム」に、第五学年五名が参加しました。

子ども国連環境推進協会事務局長の井澤友郭氏によるSDGsワークショップでは、「世界の出来事」と「私

の間の距離を縮めよう」をテーマに、SDGsが目指す誰ひとり取り残されない社

会をイメージしました。続いて、レゴブロックを用いて、誰かが取り残されている状況を表現し、昨今のさまざまな社会問題を再認識しました。その後、自分と社会との接点を抽出し、一人ひとりが社会に影響を及ぼすことができることを持っていることを確認しました。



午後からは、身近な場所における課題の一つを見つけ、解決するための行動計画を立てました。本校生徒は、校内環境問題の改善を目標に掲げ、会食の残菜削減や古紙回収の重要性を生徒全員に理解してもらう方法について議論しました。この計画を行動に移す覚悟を持って会場を後にした生徒たち。その表情は、有言実行に向けた決意にみちぎるものでした。

# 幼稚園短信

聖徳学園三田幼稚園

## もちつき会

十二月に入ると餅つきの歌が聞こえてきます。本園では、恒例の「もちつき会」を十二月六日(金)に行いました。



みんなでべったん、べったんこ

もちつき会に向けて、歌や手遊びをしたり、絵本を通して餅ができるまでの過程を学んだりしました。

当日は、父母の会幹事や「えぶろんぱば(父親有志の会)」の皆さんも餅つきの手伝いに来てくれました。その周りで、子どもたちが「よ

いしょ、よいしょ」と餅をつき真似をしたり、「わあ、のびてる〜」と大きな歓声を上げていました。つきあがった餅を、保護者が丸めて味をつけていく「もち工場」の中を見学すると、「おいしそう!」「早く食べたい!!」と笑顔で話していました。

## 食育体験

聖徳学園八王子中央幼稚園

毎年本園では、年長組を対象に近くのスーパーで「食育体験ツアー」を行っています。専門の食育インストラクターが生きた教材として季節の野菜や果物を使って、子どもたちに食べ

るこの意味や大切さをわかりやすく解説します。ゲームやクイズを織り混ぜながら、約一時間半楽しく学習



買い物体験(昨年の様子)

その後はいよいよ実店舗での買い物体験です。グループごとにカートを押して、野菜、果物売り場にはどのような栄養素が並んでいるのか、野菜のどの部分を食べているのかなどを調べていきます。「中と外が同じ色の野菜は?」などの問題に沿ってグループ内で友達と意見を話し合いながら、決められた予算の中で買い物ゲームを楽しんでいます。

食育の最大の成果は、食事が命を頂くことだとわ

かり感謝の気持ちを抱くようになり、食事に対する姿勢が前向きに変化していくことです。食育体験を経た子どもたちからは、「残した野菜もつたいたいよ!」「野菜を育ててくれた方に感謝だね!」「食材を幼稚園に運んでくださる方にも感謝だね!」という声が聞かれるようになっています。

このすてきな食育体験ツアーは、今年も三月に実施する予定です。

聖徳学園多摩中央幼稚園

作品展

子どもたちがさまざまな技法や手法、用具を用いて制作した作品の展示会が、十二月四日(水)に行われました。

電車ごっこが大好きな桜(年少)組は、大きな段ボールにみんなで色塗りをした電車や、廃材のティッシュボックスで制作した駅、紙粘土で作ったかわいらしいアリの作品がありました。梅(年中)組は、遠足先の多摩動物公園で一番印象に残った、スカイウォークをするオランウータンを協力して制作しました。また各自が作ってみたい動物や動物の卵を紙粘土で作りました。松(年長)組では、紙袋で

作った自分にそっくりな人形や、編み物のマフラー、廃材で作った海賊船や宝物などを展示しました。

松組の展示を見て、下級学年の子どもが「すごい! こういうの作れるようになってみたい!」と憧れを抱いたり、桜組や梅組の作品を見て松組が「前に作ったことがあるね」と懐かしがったりする姿が見られました。

制作の段階から「お母さんやお父さんに早く見せたいな」作品を家に持って帰ってもいい?と話すほど、作品を見てもらいたい気持ちが高まっていた子どもたち。当日は会場でも、真っ先に自



分の作品の前に保護者を連れて行き、作り方や材料を説明していました。制作過程の写真も掲示し、子どもたちの一所懸命な様子が保護者に伝わり好評でした。

聖徳大学附属幼稚園 第四十三回 七園合同研究保育

十一月三十日(土)、子どもの育ちを伝える「保育の『見える化』から考える」をテーマに、本園にて「第四十三回七園合同研究保育」を行いました。この研究保育は、保育者の資質向上や保育内容の充実、保育技術の向上を目的として昭和五十一年に始まりました。

保護者に、①結果や成果だけではなく子どもの育ちと活動の経過を伝え、夢中になって「あそび」には学びが後からついてくると意味付けし教育的観点で語る②さまざまな方法で情報を発信し子どもの育ちや教育方針(行事、活動のねらい)を共有すること、



③幼児期の「あそび」の大切さや、育てたい力、育ちつつある力を具体的に教師一人ひとりが自分で考え、教師の願い(今後の展望、方向性)を示すこと。これらが見える化のポイントとなると考えました。

研究後一番に成果が見られたのは、現場において教師の「丁寧」に子どもやあそびを見る目、一人ひとりの幼児を理解する意識が高まったことです。子どもの興味関心を見極め、日々の保育に取り入れ展開し、振り返り、試行錯誤していく等、保育を再構成するきっかけとなりました。

子どもの育ちや教師の願いを伝えるために作成した「クラスだよりに」についても保護者の声を見える化する中で、教師の喜びややりがいへと結びつきました。

今後も「幼稚園と家庭が共に子どもを育て、共に育ち合う」方針を揺るがすことなく、いつもここにこ元気な子ども達の具現化を目指します。

聖徳大学附属第二幼稚園

避難訓練

十二月十三日(金)、避難訓練を行いました。

地震から火災が発生したとの設定で放送が流れると、園児たちはおしゃべりをせず教員の指示に耳を傾け、命を守ろうと行動しました。不安を感じてしまう園児も多くいる中、防災頭巾をかぶった五歳児は、靴を履いてクラスごとに園庭に避難し、頼もしい姿を見せました。

五月にも同じような訓練を行っており、今回は一層スムーズに避難することができました。また、室内消灯、窓開け等教員がすべきことも実行され、滞りなく終了しました。



本園では、地震・火災からの避難訓練、保護者への引き渡し訓練、不審者対応訓練等さまざまな訓練を行っています。どんな時でも先生が守ってあげるから、泣かないで先生のお話を聞きましょうね」と声を掛け、



恐怖心をおおるのではなく安心感を抱くことができるような訓練を心掛けています。園児の命を守るための危機管理を日頃から教職員が考え、安全に配慮された環境の中で保育できるようにしてまいります。

聖徳大学附属成田幼稚園 サンタさん ありがとう

十二月十七日(火)、クリスマス会を行いました。

この日に向けて、年長組の園児たちは、「クリスマス会に来てください」と手紙を書き、玄関ホールの「まほうの柱」に貼り、サンタさんが来るのを楽しみにしていました。

登園の度に「あつ、まだ手紙あるね」「サンタさん、いつ取りに来るのかな」とドキドキしながら、クリスマス会を心待ちにしていた。そして当日の朝、柱から手紙がなくなっているのを見た園児たちは、「手紙がなく



なってる!」「サンタさんが持っていったんだ」と大喜びでした。キラキラと装飾された遊戯室で、待ちに待ったクリスマス会が始まりました。歌

を歌い、踊り、合奏を行なった後、教員による劇を見てみると、シャンシャンと鈴の音が聞こえてきて、トナカイのそりに乗ったサンタクロースがやってきました。園児たちは、「サンタさん!」と呼びボルテージは最高潮に達しました。サンタさんは、園児にプレゼントを持って来て、一人ひとりと握手しました。遊戯室全体が、笑顔あふれる幸せな空間になりました。クリスマス会が終わりました。クリスマス会が終わり、まほうの柱を見ると「See you」と書かれたサンタさんからの手紙が貼ってあり、年長組は大興奮でした。



園児、保護者、教職員全員にとって思い出に残る日となったクリスマス会。園児の夢を大切にしながら保育をすることの大切さを改めて感じた一日となりました。

聖徳大学附属浦安幼稚園

ママサンタが やってきたよ! クリスマスマニコンサート

十二月十八日(水)、園児の母親の有志によるコーラス部のクリスマスミニコンサートを遊戯室で行いました。

このコンサートは園児にサプライズで計画されます。当日はすてきなクリスマスカードが届き、カードには「みなさんこんにちは、もうすぐ楽しいクリスマスがやってきますね。今日はみんなにすてきなプレゼントを持って幼稚園に遊びにきましたよ!」と書いてありました。

「これは誰からの手紙かな?」「誰が来るのかな?」「なんのプレゼントかな?」と園児が言っていると、シャンシャンと鈴の音が舞台の上から聞こえてきました。

曲は、「きよしこの夜」「ひいらぎかざろう」「サンタが町にやってくる」「ありがとうの花」「あわてんぼうのサンタクロース」「赤鼻のトナカイ」「ジングルベル」で、曲調や歌詞に合わせて、鈴やトライアングルなどの楽器、小道具、手作りの絵のパネル等を使って披露されました。どの曲も園児にとって馴染み深く、皆で一緒に元気よく歌い、楽しく過ごし、サプライズコンサートは大成でした。

た。「もしかしてサンタさん?」と園児たちから歓声が上がると同時に舞台の緞帳が上がると、舞台上にママサンタやママトナカイに扮したコーラス部が「We Wish You a Merry Christmas」の曲に合わせて登場しました。園児たちは「〇〇ちゃんママだね」と言いながら、うれしそうに一緒に口ずさんでいました。

令和2年度 大学院(春学期入学) 入試日程

聖徳大学大学院通学課程[共学/昼・夜開講] <博士後期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes general admission and internal recommendation dates.

<博士前期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes general admission and internal recommendation dates.

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes private student and special admission dates.

<専門職学位課程>(教職研究科)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes general admission and internal recommendation dates.

令和2年度 入試日程

聖徳大学(女子)/聖徳大学短期大学部(女子) <AO入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー, 受理通知の受領, 出願, 面接・プレゼンテーション. Details AO application process.

\*看護学部はAO入試を実施しない。

<社会人入試・アスリート入試・帰国子女入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes social, athlete, and returnee admissions.

\*看護学部は、社会人特別入試A日程、B日程のみ実施する。

<留学生入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes private student and private student award admissions.

<編入学・専攻科入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes transfer and graduate school admissions.

<一般入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes general admission and center exam admissions.

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes general admission and center exam admissions.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) <AO入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー・願書受付期間, 面接日. Includes AO admission for the preschool education school.

<前期・後期入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes designated recommendation and other admissions.

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes admission for the affiliated middle and high schools.

\*詳細は、各校の募集要項でご確認ください。

通信教育部(共学) 令和2年度 春学期生募集

お問い合わせ 047-365-1200(直通)

通信教育部では、令和2年度春学期生の募集を開始しています。ぜひこの機会に、働きながら免許や資格が取得できる通信教育にチャレンジしてみませんか。

- 聖徳大学大学院 通信教育課程
● 児童学研究科 児童学専攻 [博士前期課程/博士後期課程]
● 聖徳大学 通信教育部
● 聖徳大学短期大学部 通信教育部

聖徳大学・短期大学部で 取得可能な免許・資格

- 大学・短大卒業資格
教員免許: 幼稚園 小学校 中学校(英語・国語・社会) 高等学校(英語・国語・地歴・公民・書道・福祉) 養護教諭
資格: 保育士 社会福祉士(受験資格) 精神保健福祉士(受験資格) 公認心理師(大学) 認定心理士 心理相談員(基礎資格) 児童福祉司 ※要実務1年 児童指導員 心理判定員・児童心理司 図書館司書 学芸員 社会福祉士

春学期生願書受付期間

- ▶ 大学・短大 ~4月30日(木)【必着】 ※書類選考のみ
▶ 大学院(博士前期課程) ~2月25日(火)【必着】 ※3月1日(日)試験

聖徳大学主催入学説明会

※参加申込不要 ※入場無料

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間, 開催場所. Lists various campus events.

合同入学説明会

※参加申込不要 ※入場無料

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間, 開催場所. Lists joint admission events.

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。今後も内容の充実に向けてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ 第106号 発行人/川並 弘純 編集/総務課

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)

20.2.1 ret (14,75)

聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)

SOAオープニングセレモニー ~未来へ挑戦して笑顔になる~

第1部: 講演

どこまでも挑戦

講師 岡崎 朋美 氏 (聖徳大学客員教授・長野オリンピック銅メダリスト)

チャレンジに、年齢やキャリアは関係ありません。自分に「境界線」を引かず、目標を追い続ける「挑戦力」がある限り、人は何歳になっても進化することができます。



第2部: 音楽学部によるミニコンサート

未来へのハーモニー

- 日時/ 令和2年4月18日(土) 13:00~16:00 終了予定(12:30開場)
■ 会場/ 聖徳大学 松戸キャンパス 川並香順記念講堂
■ 参加費/ 無料
■ お申し込み方法/ 生涯学習課へお電話または窓口(聖徳大学10号館)にて受け付け。(定員になり次第、受け付け終了)

■ お申し込み・お問い合わせ先/ 生涯学習課 Tel: 047-365-3601

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート 長野県佐久市春日 2258-1 かすがの森

ご予約はお電話にて 電話: 0267-52-2111 宿泊料金・プランはホームページをご覧ください。 http://www.kasuganomori.com/

佐久スキーガーデン パラダ

写真提供: 佐久市観光協会

● 営業期間 ● 令和元年12月28日(土)~令和2年3月29日(日) ※気象条件により変更になる場合があります。

お問い合わせ先 0267-67-8100



日本唯一の高速道路(上信越自動車道)直結スキー場です。首都圏からのアクセスが抜群で、晴天率90%! 毎日がスキー日和、お子さまや初心者にもスキーを楽しんでもらえる緩斜面中心の安全なゲレンデの佐久スキーガーデンパラダへ、ご家族皆さままでお越しください。

また、「かすがの森」の宿泊とスキーリフト券がセットになったお得なスキーバックプランも販売中です。今年の冬は家族でスキー旅行を楽しんでみませんか。



セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門 1-1-20

0120-525-126 般 13-300726 13-ユ-300913